

# 向こう1か月の平均気温は高い予報 出穂期は早まる可能性。早めの追肥と防除体制準備を！ ～追肥&防除作業は、生育状況に注意～

令和8年4月10日  
新発田農業普及指導センター

## 1 現在の生育状況

- ・今年のは、根雪期間は47日間で平年並でしたが、消雪日は2月15日と平年より10日程度早まりました。（胎内市中条地区）
- ・消雪後、気温が高く推移したため、生育の遅れを取り戻しました。大麦の生育は平年比2日程度、小麦の生育は7日程度早まっています。
- ・消雪後に追肥が適切に実施され、葉色は平年並～やや濃くなっています。茎数は大麦は平年比やや少、小麦はほ場間差が大きく、全般に平年比少なくなっています。
- ・雑草が発生しているほ場では生育期除草剤の使用を検討してください。
- ・4月9日発表の1か月気象予報では、気温は平年比高いと予報されており、生育が早まると予測されます。（気象推移により変動があります）

## 2 今後の生育予測（気象状況により変動しますのでご留意願います。）

### 大麦（10月初旬播き）

茎立期	3月20日頃（平年3月22日頃）
止葉抽出期	4月4日頃（平年4月6日頃）
出穂期	4月19日頃（平年4月21日頃）

※現地調査及び中条アメダスデータの積算値による生育予想（4月8日まで実測気温、以降平年値）

### 小麦（10月中旬播き）

茎立期	3月30日頃（平年4月6日頃）
止葉抽出期	4月11日頃（平年4月18日頃）
出穂期	4月27日頃（平年5月4日頃）

## 3 今後の栽培管理

### （1）小麦の追肥

- ・止葉抽出期と穂揃い期に、生育状況に応じて追肥します。

### （2）赤かび病防除

- ・大麦は2回薬剤防除とし、1回目は開花期（出穂期の4～7日後頃）、2回目は1回目の7～10日後に実施します。
- ・小麦は3回薬剤防除とし、1回目は開花期（出穂期の7～10日後頃）、2回目は1回目の7～10日後、3回目は2回目の7～10日後に実施します。

※詳細は以下の技術資料を参照してください。

新発田農業普及指導センターHP 【麦栽培の技術資料】

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shibata-nogyo/mugidaizugizyutuzyouhou.html>

No.2 越冬後追肥

No.3 赤かび病対策